

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 鶴ヶ島市の防災・減災は (40分)</p> <p>西日本を中心とした平成30年7月豪雨により亡くなられた方々には心からお悔やみ申し上げます。合わせて多くの被災された方々にお見舞いを申し上げます。</p> <p>平成最悪の気象災害となったこの豪雨で、各地に大雨特別警報が発表されてから8月6日で1か月となりました。14府県で220人が死亡し、平成30年8月6日の時点では11人の行方が分かっておらず、9府県で3,700人以上が避難所生活を送っています。</p> <p>従来気象災害による多くの被害の要因は、ほとんど台風でありました。しかし、事前に予測可能な台風による被害は減少する一方で、前線の活動や積乱雲の急速な発達による予測が困難な突発的で局地的なゲリラ豪雨による浸水被害やそれに伴う土砂崩れ、鉄砲水など、今までとは異なる災害が増加しております。</p> <p>本市は、大きな河川はなく、山や崖などもない平地の市ですが、局地的豪雨が急に発生する事も当然考えられます。</p> <p>近年の災害は、想定外の要因によって災害が広範囲になり、被害を大きくしているのが現状です。</p> <p>以上の事を踏まえ、防災・減災について、以下の質問をさせていただきます。</p> <p>(1) 鶴ヶ島市地域防災計画の局地豪雨(ゲリラ豪雨)に対する位置付けについて</p> <p>(2) 大雨注意報及び大雨警報の過去3年間の状況について</p> <p>(3) 本市には飯盛川と大谷川がありますが、防災に関する計画の現状について</p> <p>(4) 主要道路などが通行止になった時の近隣市との連携は。</p>	<p>市長 教育委員会教育長</p>

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>(5) 本市において、災害時相互応援協定を締結する自治体などについて</p> <p>(6) 局地的豪雨に対する教育機関の対応について</p>	